

## JW-20RS のパラメータ転送について

本書は、リモートI/O子局ユニット JW-20RS のパラメータ転送についての追加説明書です。

JW-20CM/20RS ユーザーズマニュアル(改訂 3.0 版:2000 年 8 月作成)に追加して、お読み願います。

JW-20RS(リモートI/O子局ユニット)のI/Oテーブルは JW-20RS 内部のパラメータ 4000 番地以降に格納されますが、この領域はサポートツール等でバックアップされません。

よって、例えば JW-20RS のユニット交換時にサポートツール等でパラメータを JW-20RS に転送した場合、下記の「I/O 登録」の処理を行う必要があります。

I/O 登録が正しく行われていないと、下記状態になる場合があります。

「親局/子局ユニット上にエラー表示がないにもかかわらず、I/O が正しく実行されない」

注:下記のI/O登録は実装されているI/Oユニットを基に行います。よって、I/Oユニットに異常がある場合は先にI/Oユニットの交換を行ってください。

### 1. ダミーI/Oを設定しない場合

#### 1 - A. 「電源投入時の自動I/O登録を禁止しない(パラメータ1002が00)」に設定されている場合

パラメータファイルを「PC転送」で JW-20RS へ転送し、その後「EEPROM書き込み後動作開始」を実施すれば、この時点でI/O登録は完了します。

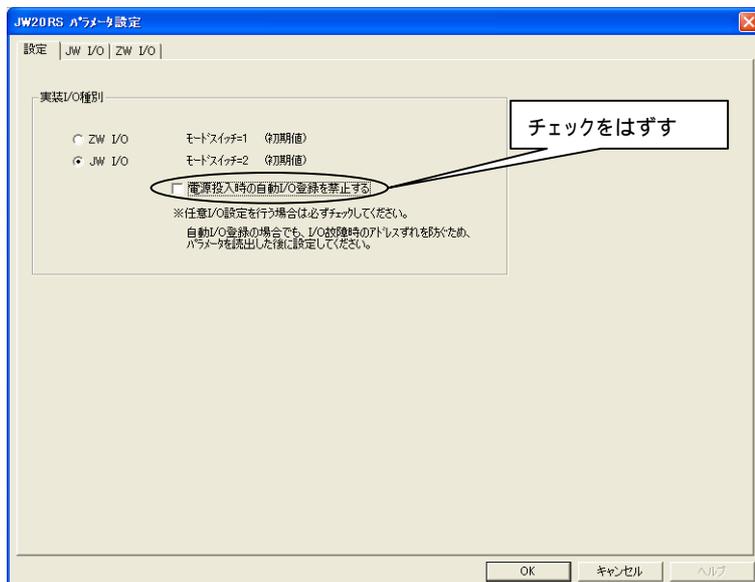
#### 1 - B. 「電源投入時の自動I/O登録禁止(パラメータ1002が03)」に設定されている場合

下記の手順でI/O登録を実施する必要があります。

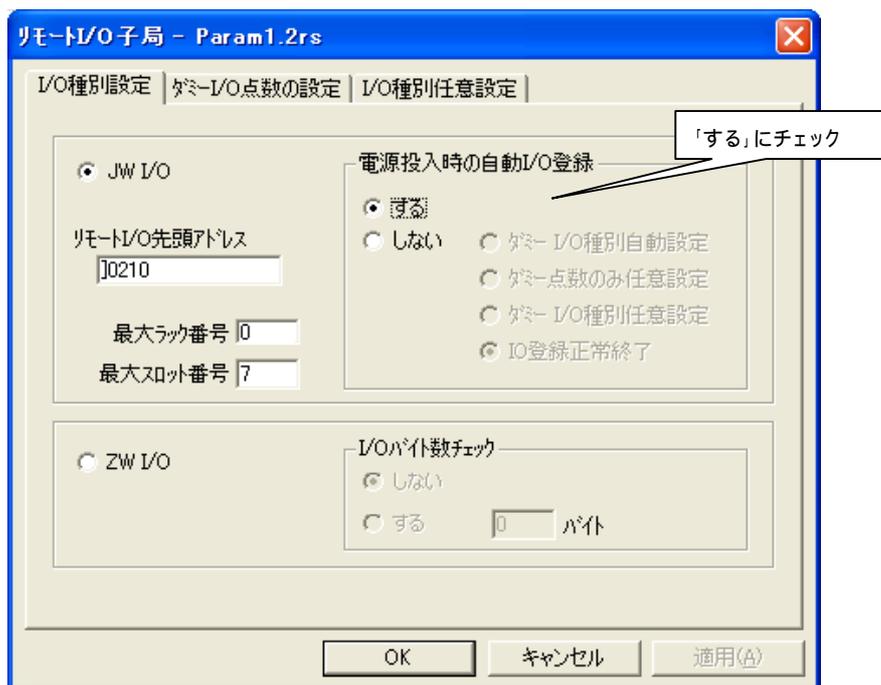
[方法1] 一旦「電源投入時の自動I/O登録禁止」を解除してI/O登録させる

- 1) JW-20RS のパラメータファイルを開く
- 2) パラメータ 1002 に 00 を書き込む

JW-300SP の場合は「電源投入時の自動I/O登録を禁止する」のチェックをはずす操作でも可



JW-100SP の場合は、「電源投入時の自動 I/O 登録」を「する」にチェックする操作でも可



- 3) パラメータファイルを「PC 転送」で JW-20RS へ転送し、その後「EEPROM 書き込み後動作開始」を実施
- 4) パラメータ 1002 に 03 を書き込む  
 JW-300SP の場合は「電源投入時の自動 I/O 登録を禁止する」をチェックする操作でも可  
 JW-100SP の場合は「電源投入時の自動 I/O 登録」を「しない」にチェックする操作でも可
- 5) パラメータファイルを「PC 転送」で JW-20RS へ転送し、その後「EEPROM 書き込み後動作開始」を実施

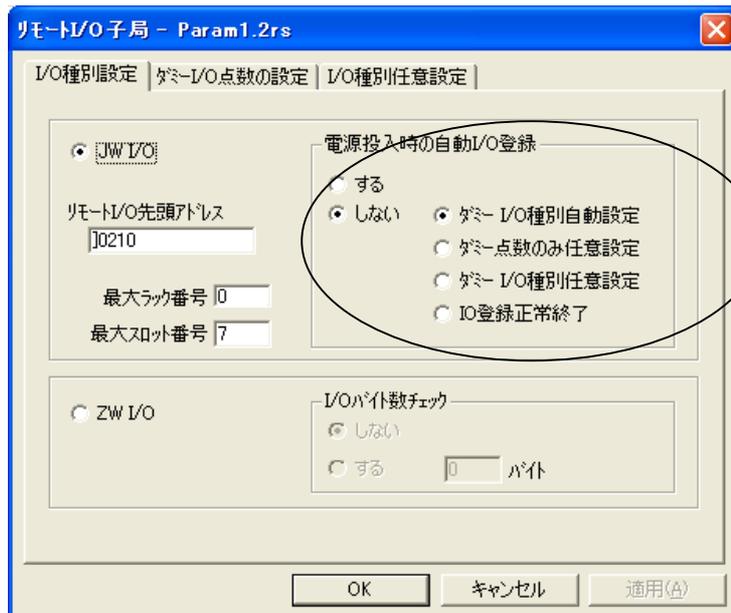
出荷時(パラメータ初期状態)の子局ユニットを使用する場合は(電源投入時の自動 I/O 登録実行状態になっているため)、ユニットを実装して電源を投入した時点で実装されている I/O に基づく I/O 登録が完了しています。従って、転送するパラメータが「電源投入時の自動 I/O 登録禁止」に設定されている場合でも、1 - A . の方法でそのまま転送して「EEPROM 書き込み後動作開始」を実行するだけで完了します。

[方法 2] パラメータ内の「I/O 登録(パラメータアドレス 1001)」を操作して登録させる

パラメータアドレス 1001 の内容は、I/O 登録完了後 00 にクリアされます。

- 1) JW-20RS のパラメータファイルを開く
- 2) パラメータ 1001 に 16 進数で 65 を書き込む  
(JW-100SP の場合は、
  - ・「電源投入時の自動 I/O 登録」を「しない」
  - ・ダミー I/O 種別自動設定

のチェックでも可)



「電源投入時の自動 I/O 登録をしない」  
「ダミー I/O 種別自動設定」を選択

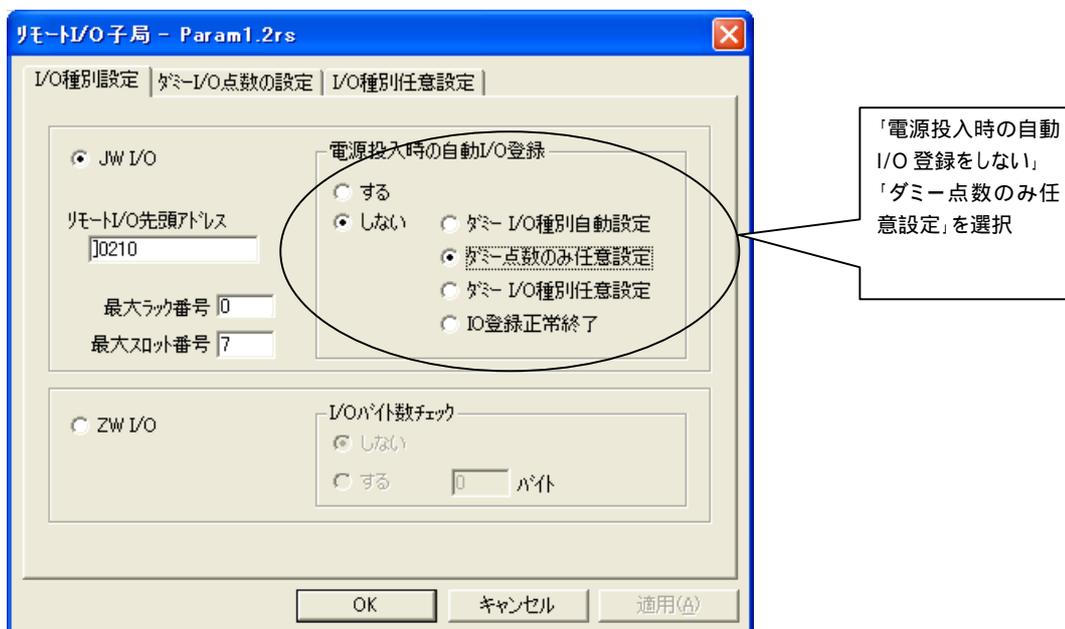
- 3) パラメータファイルを「PC 転送」で JW-20RS へ転送し、その後「EEPROM 書き込み後動作開始」を実施

## 2. ダミーI/Oを設定する場合

この場合はダミーI/O点数が設定されているので、「電源投入時の自動I/O登録」をおこなうことはできません(ダミーI/O点数がクリアされます)。

I/O登録(パラメータ1001番地)操作によって行います。パラメータアドレス1001の内容は、I/O登録完了後00にクリアされます。

- 1) JW-20RSのパラメータファイルを開く
- 2) パラメータ1001に16進数で64を書き込む  
(JW-100SPの場合は、
  - ・「電源投入時の自動I/O登録」を「しない」
  - ・ダミー点数のみ任意設定のチェックでも可)



- 3) パラメータファイルを「PC転送」でJW-20RSへ転送し、その後「EEPROM書き込み後動作開始」を実施